

総合図書館 清教リブラリア

2016 年度 事業報告

- ・ポスターセッションによる中学卒業研究発表会を開催
- ・ラーニングcommons開室
- ・「本をつなげるプロジェクト」はじまる
- ・リブラリア書架・総合的学習室ロッカーを各種賞金で増設
- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」9年連続入賞

清教学園中・高等学校 図書館教育

2017年4月24日

I トピックス

ポスターセッションによる中学卒業研究発表会を開催

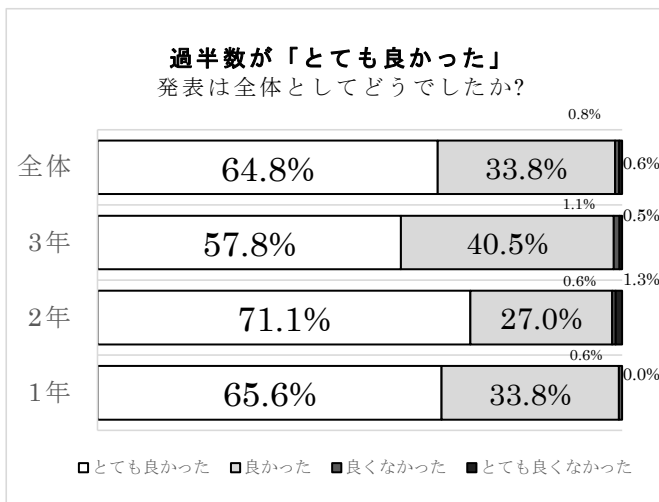
2017年3月13日ラーニングコモンズなど校内6会場で、中学校の卒業研究発表会が行われました。2002年の総合的な学習の時間開始以来はじめての、3年生全員によるポスターセッション方式の発表です。

発表者は185名、参観者は中3生を含む全校生徒と中学の先生方等でした。2・3時間目の発表時間を4つにわけ、各発表者が8分の発表を2回実施しました。なお、1年生は2時間目、2年生は3時間目のみの参観です。参観者から事前にアンケートをとり、なるべく希望にあったブースが参観できるようにしました。

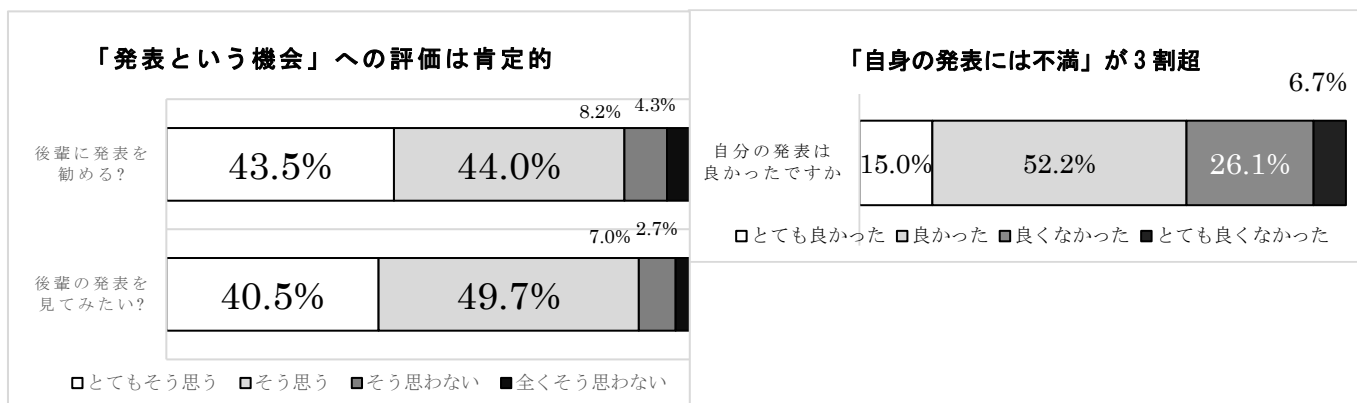


発表後のアンケート（回収 512 名）の集計結果によると、発表会について過半数の 64.8%が「とても良かった」と回答しました。「よかった」を含めた肯定的な回答は 98.6%を占めます（右グラフ）。

一方で、発表会という機会そのものを、3年生がどのように捉えているかを知るため、「後輩に発表会という機会をすすめますか」「後輩の発表をこれから見てみたいですか」の質問をしました。その結果、前者への肯定的回答は 87.5%を、後者への肯定的回答は 90.2%を占めました（次ページ左グラフ）。これらの結果から、3年



生の約9割の生徒が、実際の自身の発表を離れて、「発表会には意義がある」と判断したといえます。ちなみに、「自身の発表は良かったですか」という設問に対し、「(とても)良くなかった」という回答が33%を占めていましたので、発表自体への自己評価は厳しめだったといえます(右下グラフ)。



ラーニングコモンズ開室

2016年10月ラーニングコモンズが開室しました。授業での利用とともに、放課後には個別学習とともに共同学習・創造的なプロジェクト学習・企画行事等で利用されるようになりました。

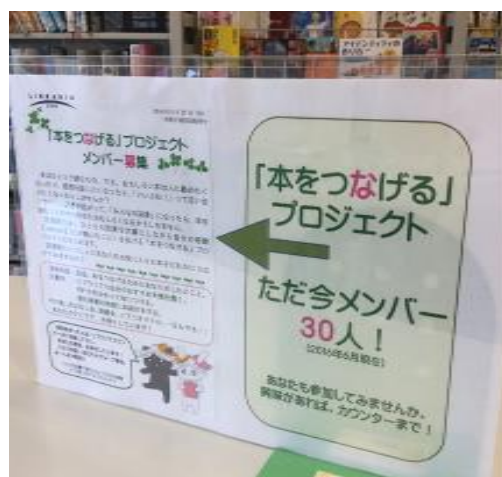
3教室分のスペースが4エリアに分割され、全96席と丸太スツール13席があります。紐状カーテンで仕切るので利用が可能です。またChromebook 200台が利用可能で、生徒用SGアカウント(Googleアカウント)でGmail・Office365等が利用可能です。



「本をつなげるプロジェクト」はじまる

「本をつなげるプロジェクト」は2016年度から開始された、リブラリアがコーディネートする、生徒による読書活動推進のボランティア活動です(V2016年度の記録に詳細を報告)。

現在中高あわせて44名が登録し70教室を訪問。のべ154名が本の紹介や絵本の読み聞かせの活動、POP作成・展示用木製本棚制作・「マイ本棚」展示等の活動を行いました。



「図書館を使った調べる学習コンクール」9年連続入賞

「第20回 図書館を使った調べる学習コンクール」(主催:公益財団法人 図書館振興財団)の受賞者が発表され、46期卒業生(高校3年A組)

さんの作品、『貧困におかれる子どもたちはどのように支えられているのか:子ども食堂等の民間のこころみを通じて』が読売新聞社賞を、また同組の さんの作品『チャイルド・ライフ・スペシャリストは病院に必要か:欧米の「遊びケア」との比較を通して』が図書館振興財団賞を受賞しました。このコンクールへの入賞は9年連続16人目です。

また、66期卒業生(旧中3年B組)の さんの作品『至福の時間を与える鉄道デザイン:なぜデザインが人に至福を与えているのか』は、最終審査29作品に残りました。全国からの中学生の応募は18,624点だったので、642点中の1点に選ばれたこととなります。さらに佳作以上の入選作品が16点ありました。コンクールに参加以来、清教学園として最高の入選者数です。

図書館を使った調べる学習コンクール



読売新聞社賞に選ばれた柳さん(右)と図書館振興財団賞の青木さん(河内長野市の清教学園校)

図書館の資料を活用して論文を発表する「第20回図書館を使った調べる学習コンクール」(公益財団法人図書館振興財団主催)読売新聞社賞(後援)の調べる学習部門(高校生)で、清教学園高(河内長野市)3年、柳光さん(18)が「優秀賞」、読売新聞社賞を、同3年、青木杏奈さん(18)が「同・図書館振興財団賞」を受賞した。表彰式は25日に東京都内で行われる。

柳さん(清教学園)読売新聞社賞

柳さんの論文は、貧困状態にある子どもたちをどのように支えられているのか、子どもに無料や低料金で食事を提供する「子ども食堂」などの取り組みを通じてまとめた。中学時代、世界の貧困問題をテーマに英語でスピーチしたが、その時は「日本に住む自分たちは恵まれている」と感じていた。だが、その後、日本でも多くの子どもが貧困の状態にあることを知って驚いたという。関心を寄せたのが、「子ども食堂」。近年、全国に広まっているが、新しい動きのため文献が少ない。そこで、

子どもの貧困対策まとめ

貧困そのものについて理解を深めようと、校内の図書館で関係する本を探すとともに、厚生労働省の資料などにもあった。さらに、自身が暮らす富田林市の市役所を訪ねて、担当者から子どもを支援する取り組みについて聞き取った。論文では、自ら調べた内容を踏まえ、「民間の善意が支える活動には限界があり、国の率先した関わりが欠かせない」と結んだ。柳さんは、「研究を通して子どもの貧困の背後にある大人の貧困の要因も知ることができた」と言う。大学の社会学部へ進学予定という。今回の経験をもち、関心をもちたいと意気込んでいる。

青木さん図書館振興財団賞

「CLS」意義に関心は、病院には「不安で泣いてばかりいたイメージ」し、青木さんの論文のタイトかなかったという。しかし、近年、遊びなどで治療への不安を軽減する専門職「チャイルド・ライフ・スペシャリスト」(CLS)がいる富田林の病院に出向き、取り組みを聞いた。論文では「小児医療には子どもの心理面のケアが不

読売新聞 2017年2月14日(火曜日) 朝刊【大阪版】

可欠。CLSが果たす役割は大きい」などとまとめた。青木さんは、「将来は子ども成長に関わる仕事に就きたい」と話している。

リブラリア書架・総合的学習室ロッカーを各種賞金で増設

本年度リブラリアの総蔵書数は58598冊となりました。2015年度に引き続き、2016年度にも蔵書の増加に応じた書架の増設を行いました。窓辺の低書架、フロアにアイランド型の低書架です。その結果、棚として22段分が加わりました。約660冊分の容量増となります(1段30冊相当)。ちなみに低書架には従来あった書架と同じ飾り板と天板を用いて、デザインの統一感を維持しました。一方、総合学習室の壁面は長く空スペースがありましたが、大型ロッカーと、スチール棚の設置が実現しました。

これらの書架・ロッカー等の予算には、2015年の「朝の読書大賞」、2015年の「学校図書館賞」の副賞賞金が用いられました。



←低書架は両面アイランド型を
2架増設。12月には間にクリ
スマツリーが立ちます。窓辺に
も低書架を増設。

総合学習室の新ロッカー。下
部は百科事典棚になりまし
た。→



II 施設概要

名称: 総合図書館 清教学園リブラリア

所在地: 〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28, 29) HP : <http://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長: 井上隆 理事: 中尾恒夫 中学高校・校長: 森創

チャプレン: 井上良作 中学高校・副校長: 森野章二 中学・教頭: 菊岡秀行

高校・教頭: 安藤浩明

図書館教育: 片岡則夫 (館長・探究科教諭) 山根美智子 (司書)

南百合絵 (司書教諭) 山崎勇氣 (司書) 岡崎真実 (非常勤司書)

※山崎は総合学習・情報科のサポートとして授業も担当

生徒数: 中学校 543名 (1年 171名 2年 172名 3年 200名)

高等学校 1272名 (1年 449名 2年 418名 3年 405名)

総生徒数 1815名 (昨年度 1835名)

職員数 147名

合計 1962名 (昨年度 2001名)

学級数: 中学校 13学級 高等学校 33学級 合計 46学級

設置: 2002年4月 (「総合図書館清教リブラリア」として現在の位置で開館)

図書館:

床面積: 約 256 m² カウンター 司書室を含む

座席数: 20席 書庫 (スタディーホール・ホール上)

業務端末: 6台 生徒検索端末: 2台 無線LAN iPad: 3台

蔵書管理システム: LibMax (ソフテック)

図書館発注システム: Tooli-S (TRC)

総合学習室:

床面積: 約 98.2 m²

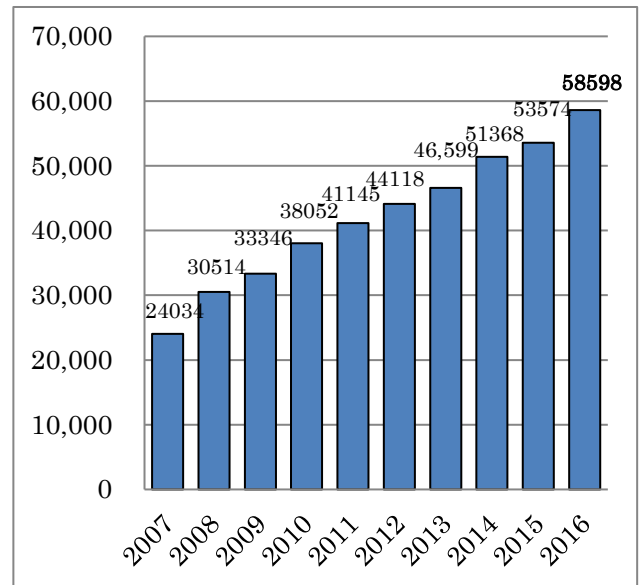
座席数: 48席 生徒用PC: 48台 教師用PC: 1台 無線LAN

ラーニングcommons:

座席数: 96席 生徒用情報端末: 200台 (Chromebook)

Ⅲ 資料

本年度リブラリアの総蔵書数は 58598 冊となりました。2015 年度末より約 5024 冊の増加です。一方で、書架の容量が限界に近づいたため、書架を増設しました。同時に、大規模な本の移動と除籍（1539 冊）を本年度も行いました。



2016 年度蔵書統計

1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	129	129	452	598	458	379	316	507	88	1406	120	4582
%	2.8	2.8	9.9	13.1	10	8.3	6.9	11.1	1.9	30.7	2.6	100

2. 購入視聴覚数 0点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
一般寄贈	6	4	63	41	21	14	6	8	5	70	96	334

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 41 点を含む

※ PTA 学級図書費購入分も含む

4. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	2	0	2	0	4	0	9	0	5	5	27

5. 生徒作品受入分

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	8	2	9	23	45	50	49	67	5	55	0	313

生徒作品の内訳

	高 3 探究科卒業論文 タラント (パスファインダー・資料編含む)	中 2 総合学習作品 ブックレット	中 3 総合学習作品 卒業研究	中 2 総合学習作品 『すくどノベルズ 2015』ほか
冊数	41	50	96	64

6. 総受入冊数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	146	138	524	666	547	448	371	596	98	1634	221	5389

7. 紛失図書

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164	112	194
紛失率(%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.30	0.30	0.21	0.3

年間紛失率＝年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額約 26.1 万円（単価 1346 円として）

※これまでの紛失図書の累計値

8. 配置別の蔵書数と割合

	1F 書架 (すくど文庫含む)	2F 書庫	3F 書庫	すくどの本 (教室出張中)	その他 (視聴覚図書等)	全蔵書
冊数	48104	5328	4137	284	745	58598
%	82.1	9.1	7.1	0.48	1.3	100

9. 廃棄数冊数 1539 冊

10. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
生徒作品	44	32	80	206	258	259	267	293	27	86	0	1552
寄贈	171	324	552	628	579	179	115	381	350	3198	537	7014
蔵書合計	1342	3093	4968	7079	7276	4435	3646	6539	1677	16885	1658	58598
%	2.2	5.3	8.5	12.1	12.4	7.6	6.2	11.2	2.9	28.8	2.8	

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 422 点等を含む

すくど文庫(2014 年度より設置)

1. すくどの本:教室設置用図書購入分

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	3	6	5	12	36	5	7	20	1	189	0	284

※ 今年度から中学 3 年生分の冊数を増やした。

※英語の本 39 冊も主題の分類に含む (今年度から+1 冊ずつし、各組 3 冊ずつに)

2. 教室設置図書(すくどの本)紛失冊数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
紛失冊数	1	0	1	6	12	2	2	6	1	52	0	83
全体に対する 紛失率	33.3	0	20	50	33.3	40	28.6	30	100	27.5	0	29.2
分野別 紛失率	1.2	0	1.2	7.2	14.5	2.4	2.4	7.2	1.2	62.7	0	100

雑誌（購入 18 誌）

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	季刊かつくら	週刊東洋経済	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	DAYS JAPAN	ナショナル・ジオグラフィック 日本版
ダ・ヴィンチ	オレンジページ	進学通信	進学通信（関西版）
季刊デザインノート	日経エンタテイメント		

新聞（購入 3 誌・寄贈 1 誌）

朝日新聞	Asahi Weekly（毎週金曜日）
Japan Times	朝日中高生新聞（毎週日曜日：寄贈）

教室設置図書（すくどの本）の蔵書数・紛失数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まん が 絵 本 他	合計
蔵書数	3	6	5	12	36	5	7	20	1	189	0	284
紛失数	1	0	1	6	12	2	2	6	1	52	0	83
分野別紛失率	33.3	0	20	50	33.3	40	28.6	30	100	27.5	0	29.2
全体に占める紛失率	1.2	0	1.2	7.2	14.5	2.4	2.4	7.2	1.2	62.7	0	100

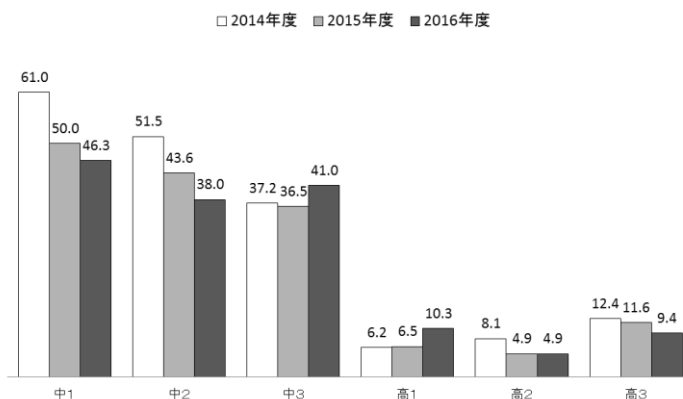
IV 利用

2016年度の総貸出数は35950冊で、昨年に比べて約1000冊減少しました。

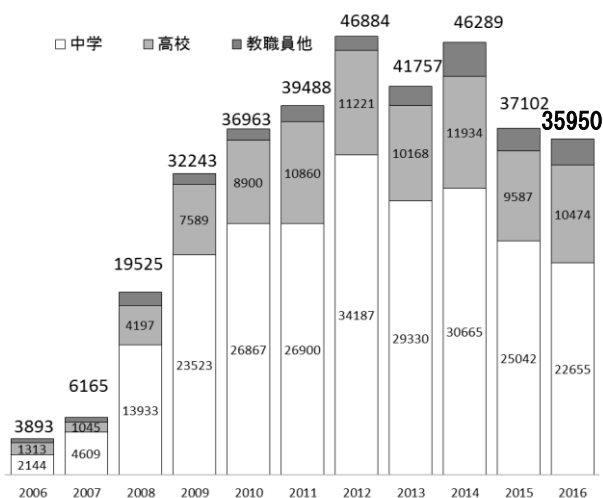
一方、ひとりあたりの年間貸出数は全生徒で18.3冊（約0.2冊減）微減しました。中学で41.7冊（約0.2冊減）、高校で8.2冊（約0.5冊増）です。詳しく見ると、中学1・2年が増減、中学3年・高校1年が増加しています。

したがって総貸出点数の減少は、生徒減（昨年度より39名減）が主因と考えられます。

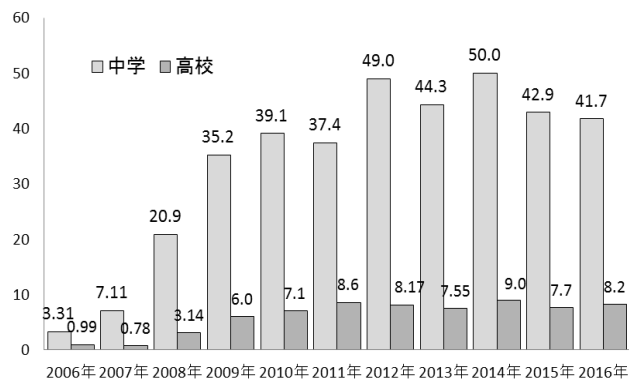
一人当たりの貸出点数の変化(学年別)



総貸出点数は1000冊減



生徒一人あたりの貸出点数は
高校増・中学微減



開館時間 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 285日(前年度278日)

授業利用時間数 753時間(校時)

リブラリアの管理する総合学習室・図書館・スタディホールの利用時間の統計。

貸出方法・期間

貸出冊数：20冊まで／貸出期間：14日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 35950冊

利用者1人あたりの貸出冊数【貸出密度】（ ）は前年度

全生徒 18.3冊/年 (18.5冊/年)

中学生 41.7冊/年 (42.9冊/年)

高校生 8.2冊/年 (7.7冊/年)

職員 12.8冊/年 (13.4冊/年)

開館日1日あたりの貸出冊数:126.1冊(前年度133.5冊)

蔵書1冊あたりの平均貸出冊数【蔵書回転率】 : 0.61冊(前年度0.69冊)

(蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

新しい本が図書館にどの程度入ったか【蔵書新鮮度】 : 9.2% (昨年度8.1%)

(蔵書新鮮度=その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100)

※この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており、書架に新しい本が多い。

リクエスト件数 約1000件 (昨年度1253件)

複写申請数 37件 (昨年度336件) スキャン数の増加のため減少

他館借受本 816冊 (昨年度約 869冊) 河内長野図書館他

年間貸出統計 2016年度

	中1	中2	中3	中学生	高1	高2	高3	高校生	職員	保護者	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日 平均	予約/ リクエスト
				貸出合計				合計							
4月	489	261	825	1575	855	148	242	1245	93	0	311	3224	24	134.3	118
5月	1030	256	709	1995	338	142	475	955	116	3	0	3069	22	139.5	196
6月	1598	350	957	2905	444	249	693	1386	174	0	314	4779	26	183.8	72
7月	888	491	1332	2711	565	182	589	1336	262	0	5	4314	26	165.9	104
8月	362	114	232	708	153	46	207	406	65	0	1	1180	25	47.2	25
9月	735	1042	793	2570	364	181	363	908	211	0	173	3862	25	154.5	72
10月	684	757	967	2408	343	134	372	849	301	0	89	3647	25	145.9	107
11月	706	721	793	2220	387	197	269	853	191	0	16	3280	24	136.7	140
12月	479	443	564	1486	305	128	80	513	125	4	6	2134	23	92.8	43
1月	323	829	265	1417	295	299	179	773	136	0	12	2338	20	116.9	52
2月	338	705	344	1387	259	183	225	667	99	0	11	2164	19	113.9	52
3月	289	560	424	1273	323	167	93	583	103	0	0	1959	26	75.3	51
集計	7921	6529	8205	22655	4631	2056	3787	10474	1876	7	938	35950	285	126.1	1032

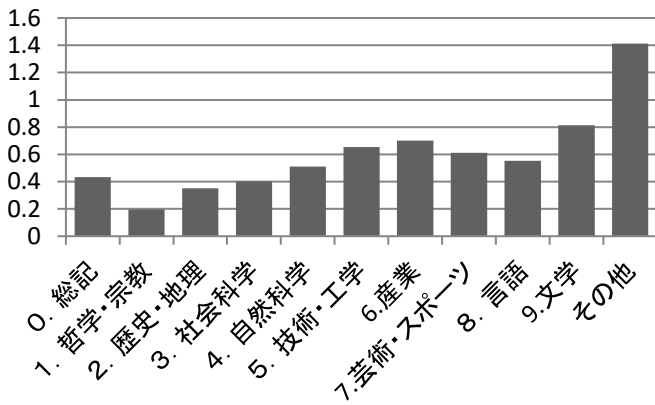
分類別貸出冊数と回転率

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視 聴 覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出冊数	581	608	1740	2859	3712	2903	2554	3997	926	13727	157	137	1416	633	35950
蔵書数	1342	3093	4968	7079	7276	4435	3646	6539	1677	16885	1658	58598	1342	3093	4968
蔵書回転率	0.43	0.20	0.35	0.40	0.51	0.65	0.70	0.61	0.55	0.81	0.04			0.61	

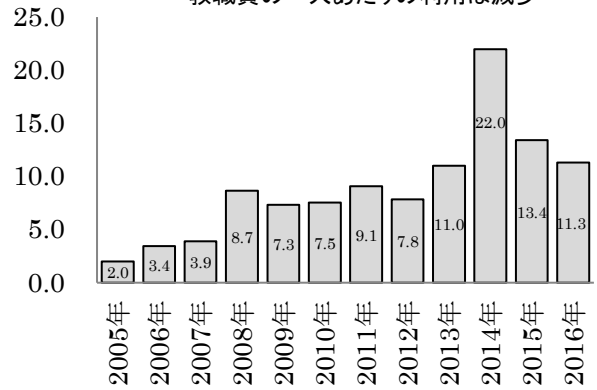
「蔵書回転率」は蔵書1冊あたりの平均貸出冊数 (蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

※ その他は他館からの借受本など。

よく貸出された技術・工学・産業
(分類別の回転率)



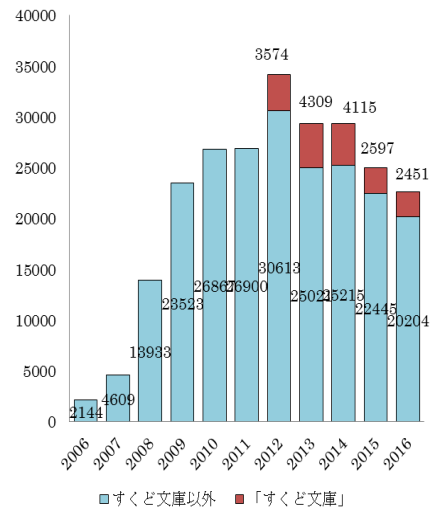
教職員の一人あたりの利用は減少



すくど文庫の分類別貸出統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本	合計
蔵書冊数	41	76	64	150	255	73	88	220	22	1480	1	2470
貸出冊数	48	70	35	85	147	59	77	141	19	1770	0	2451
回転率	1.17	0.92	0.55	0.57	0.58	0.81	0.88	0.64	0.86	1.20	0.00	0.99

中学貸出数に占めるすくど文庫貸出数



長期休暇中の利用

開館日数:37 日

総入館者数:1212 名

利用: 貸出611点 返却511点

1日当たりの入館者:32.8人

1日当たりの貸出数:16.5点 1日当たりの返却数13.8点

	開館日数	入館者					利用	
		中学生	高校生	教職員	見学	合計	貸出	返却
春期 2016	2	10	4	7	2	23	22	8
夏期	20	381	408	57	99	945	475	294
冬期	6	29	29	14	6	78	47	110
春期 2017	9	50	83	30	3	166	67	99
合計	37	470	524	108	110	1212	611	511

図書館登校生徒

年間利用日数:215 日

年間利用のべ人数:628 人

総利用時間数:1627 時間 (校時)

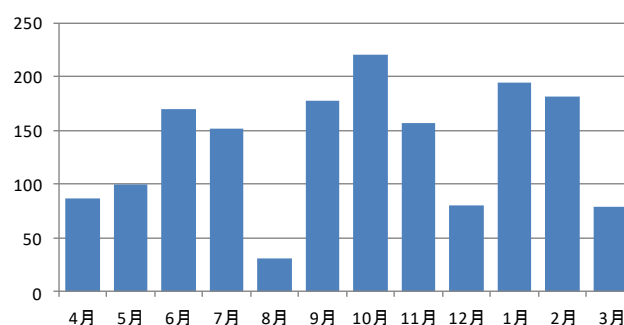
図書館登校の生徒は年間 215 日利用をしていました。年間の開館日数が 285 日なので、長期休みを除いてほぼ毎日誰かしらが図書館登校で利用を

していたこととなります。

総利用時間数は 1627 時間でした。中高生ともに教室に入りにくい等の理由がほとんどでした。他には留学帰りの生徒留学生等が利用しました。各々、図書館では課題学習・PC 利用等で過ごしました。

もっとも利用した生徒は中学 3 年生の男子で 484 時間でした。

図書館登校生徒の月別利用時間数



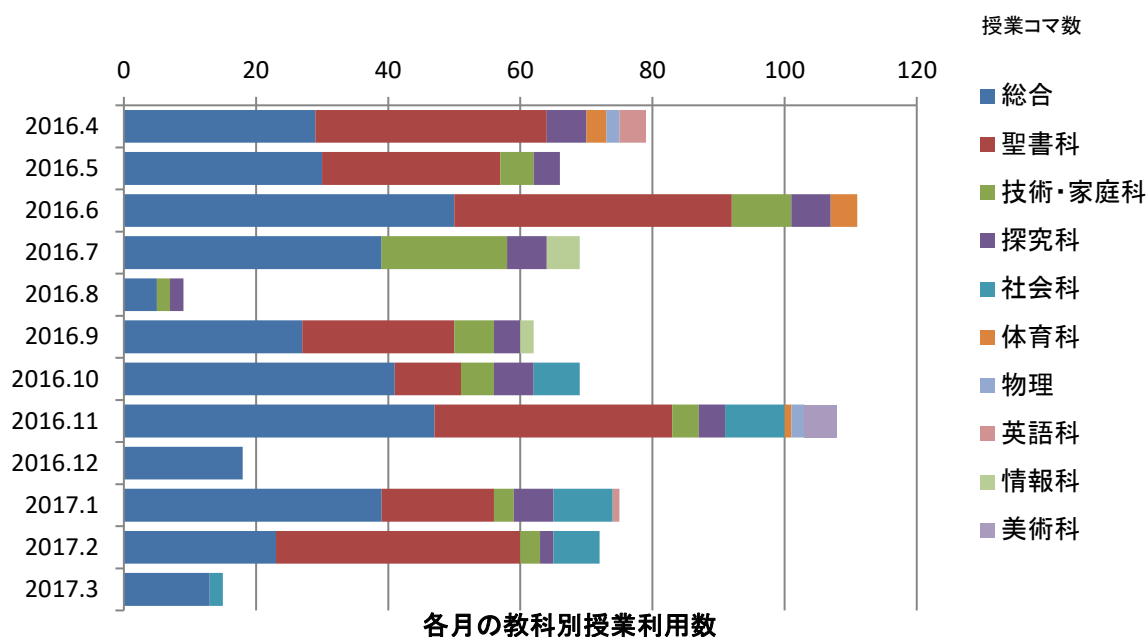
	中学			高校			留学生
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	
生徒数	1	5	14	3	6	0	4
	20			13			
	37						

図書館利用授業①

総合学習室・図書館・スタディホールの利用時間の統計です。ここには図書館資料を利用しない授業も含まれています。

総利用時間数 : 753 時間 (校時)

	総合	聖書科	技術・家庭科	探究科	社会科	体育科	物理	英語科	情報科	美術科	合計
2016.4	29	35	0	6	0	3	2	4	0	0	79
2016.5	30	27	5	4	0	0	0	0	0	0	66
2016.6	50	42	9	6	0	4	0	0	0	0	111
2016.7	39	0	19	6	0	0	0	0	5	0	69
2016.8	5	0	2	2	0	0	0	0	0	0	9
2016.9	27	23	6	4	0	0	0	0	2	0	62
2016.10	41	10	5	6	7	0	0	0	0	0	69
2016.11	47	36	4	4	9	1	2	0	0	5	108
2016.12	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
2017.1	39	17	3	6	9	0	0	1	0	0	75
2017.2	23	37	3	2	7	0	0	0	0	0	72
2017.3	13	0	0	0	2	0	0	0	0	0	15
計	361	227	56	46	34	8	4	5	7	5	753



図書館利用授業②：高1 [Global Studies]への資料支援

高校社会科「Global Studies(高1 情報科-探究編)」(担当 先生)の授業に対し図書館から資料の支援をしました。

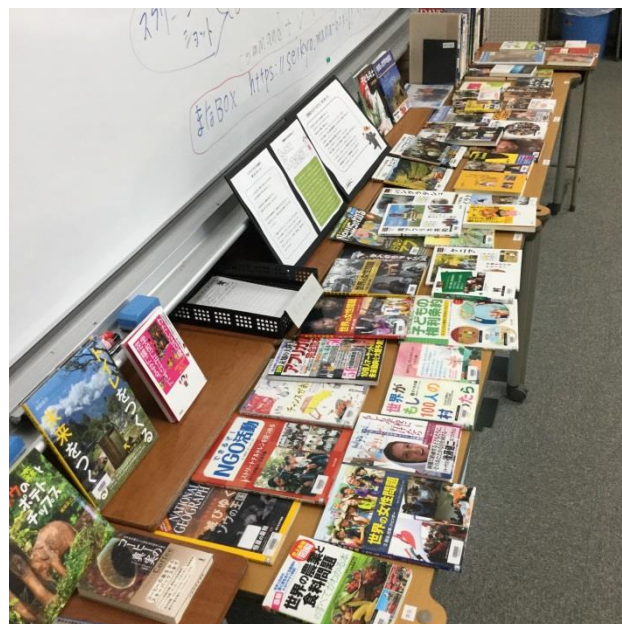
- (1) 「教育・貧困・児童労働に関するポスターづくり」2016年6月
世界の教育・貧困・労働に関連する資料100冊を選書し、情報科教室に出張文庫を設置
関連するWeb資料の探索と提供
- (2) 「ディベート」2016年10月
ディベートで扱われる6種類のテーマ(歩きスマホの危険性、英語の第二公用語化、自動運転技術、難民の受け入れ、AI時代の雇用の変化)に関連する資料100冊を選書し、情報科教室に出張文庫を設置。関連するWeb資料の探索と提供。
- (3) 「B o Pリサーチ」2016年11月
B o Pビジネス、アフリカ途上国におけるビジネス、地域研究等に関する資料を提供。
- (4) スクールヨミダスの環境整備 2016年12月
学内端末から読売新聞デジタル版の閲覧を可能にしました。

出張文庫を設置した理由は次の3点です。

- ①「図書館に関連書籍があるので、授業外に借りておくこと」という教員からの働きかけでは、なかなか生徒の足が図書館に向かない。
- ②1つのテーマに対して1学年の生徒が群がるので、図書館で貸し出しをしていたのでは、生徒の数に対して資料が不足する。
- ③自分が今学んでいるその場に、テーマの関連書籍があるということが、生徒の資料に対する欲を刺激する。

出張文庫の設置は 先生からのヒアリングからも効果が伺えました。具体的には、書籍の目次の参照で情報を俯瞰し、テーマに必要な情報の体系的な位置づけが可能になった、とのことでした。

「教育・貧困・児童労働に関するポスターづくり」のために設置された出張文庫の100冊→



V 2016年度の記録

「図書館だより」と特集展示(主に窓際のテーブルで)

[2016年]

- 5月「図書館だより」(担当岡崎) 京都&葵祭特集
- 6月「図書館だより」(担当山崎) 沖縄基地問題に関する資料を展示
- 7月「図書館だより」(担当南) 映画化された本
- 9月「図書館だより」(担当山根) 秋におすすめの本を展示
- 10月「図書館だより」(担当片岡) おおきな本の展示
- 11月「図書館だより」(担当岡崎) 貸出回数0の本たち
- 12月「図書館だより」(担当山崎) 人類滅亡モノ特集
クリスマスツリーの設置に併せて、クリスマスに関する資料を展示

[2017年]

- 1月「図書館だより」(担当山根) 年始におすすめの本を展示
- 1月 蔵書点検に伴い除籍本の検討と譲渡を開始
- 2月「図書館だより」(担当片岡) 池上彰に学ぶ100冊
- 3月「図書館だより」(担当南) 「さよなら」と「旅立ち」の本
47期高3タラントンを展示

年度を通じた活動(通常業務以外)

- ・未登録の本・雑誌・CD・DVDの登録作業(遡及作業)を継続。
- ・登録バーコード位置統一作業(貸出・返却作業、蔵書点検作業の効率化をはかるため)。
- ・図書委員会の活動:「書架整理係」を中心に実施。
- ・カウンセリングルームと連携し生徒の居場所提供(カウンセリング協議会への参加)。
- ・「新刊図書のご案内」の配布:各クラスに1ヶ月に1度のペースで配布・掲示(カラーで4~5枚), 学園内サーバの新刊案内も定期的に更新。教員用端末から閲覧可能。更新時にSGメールでお知らせ。
- ・教育相談室からカウンセラーの先生が水曜日の昼休み図書館に在中し生徒観察を実施。
- ・階段横壁面を利用して、原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示。
- ・寄贈本の受入:職員・生徒・関係者からの寄贈本が増加。登録作業継続。
- ・書架の移動と分類サインのリニューアル。
- ・Twitterアカウント学内・学外向けにアピールを引き続き行う
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加継続中。

行事

- 4月 高校1年生全クラスに対して利用案内を実施(教科聖書の1時間を利用)
- 5月 第1回リブラリアクイズ(参加14名)
- 7月 第2回リブラリアクイズ(参加25名)
- 9月 文化祭 教室では図書館総合展で展示したパネルと、生徒作品を展示

10月 第3回リブラリアクイズ(参加15名)

12月 宗教部・リブラリア共催クリスマス会(生徒22名教員2名)

(川俣先生による説教、教職員によるコンサート、チョコペンでお絵かき→試食)

1月 第4回リブラリアクイズ(参加4名)

「本をつなげるプロジェクト」発足の経緯とその統計

はじまり：4月 リブラリア×高校3年生男子生徒

毎年リブラリアでは朝の読書の時間に高校生に対し図書館のオリエンテーションを行っています。今年度は実施に当たって、高3生の さんを誘いました。彼が探究科の卒業論文のテーマに「読書指導」を選んでおり、よい実践の機会になると考えたからです。何度かの参観ののち、桧垣君は本の紹介を交えながら立派にオリエンテーションを務めてくれました(右写真)。

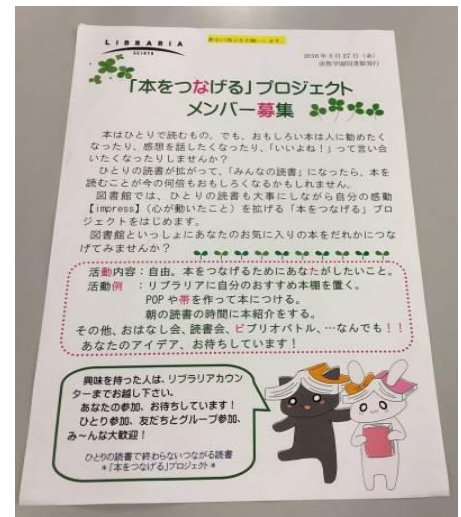


教室で本の紹介をする高3生

本の魅力を伝えたい生徒がいる：5月 リブラリア×生徒

「みんなにもっと本を読んでほしい」と考えている生徒の存在を知り、図書館と生徒、生徒と本、生徒と生徒の関わりを増やす取り組みを全校に呼びかけようと企画をたてました。それが『「本をつなげる」プロジェクト』です。

5月27日に教室に募集ポスターを掲示、6月11日には教室での本紹介がスタートしました。仮称のつもりだった「本をつなげるプロジェクト」は、いつの間にか正式名称として定着しました。



様々の活動内容：6月 生徒×生徒×ときどき先生

なにをするか、いつどのように活動するかは本人次第です。これまでに実施された活動は下記の通りです。

- ・朝の読書の時間に教室で本を紹介する
- ・本紹介のPOP作成
- ・展示用木製本棚制作
- ・自分がオススメする本を集めた「マイ本棚」づくり



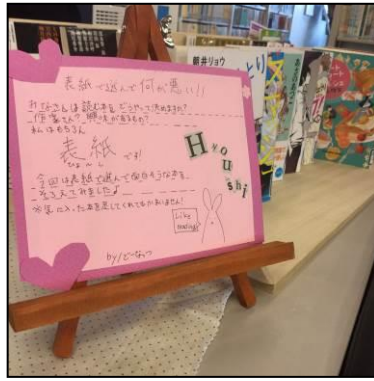
みんなでランチミーティング。→

←教室で書画カメラを使って『キャベツくん』(長新太)を朗読。「ぶぎゃっ!」がくせになります。





木製の本棚を作成中



おすすめの本を集めた「マイ本棚」



「本をつなげるプロジェクト」活動統計

	中1	中2	中3	高1	高2	高3	計
人数	6	7	9	14	2	6	44

「本をつなげるプロジェクト」登録メンバー

	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	総訪問 教室数
中学教室	16	14	1	0	0	3	5	39
高校教室	15	8	0	5	1	1	1	31
計	31	22	1	5	1	4	6	70

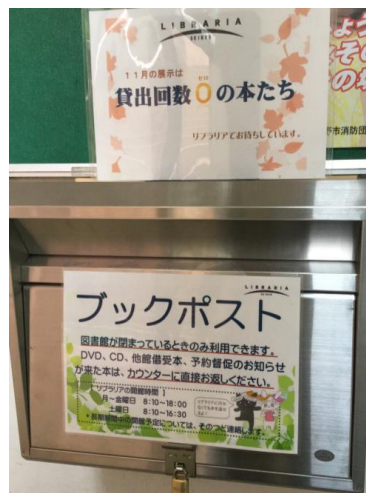
訪問教室数

	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	のべ人数
中学生	11	23	0	0	0	0	0	34
高校生	34	13	2	17	4	20	30	120
計	45	36	2	17	4	20	30	154

訪問者(プロジェクト実施者)のべ人数

返却用ブックポスト設置

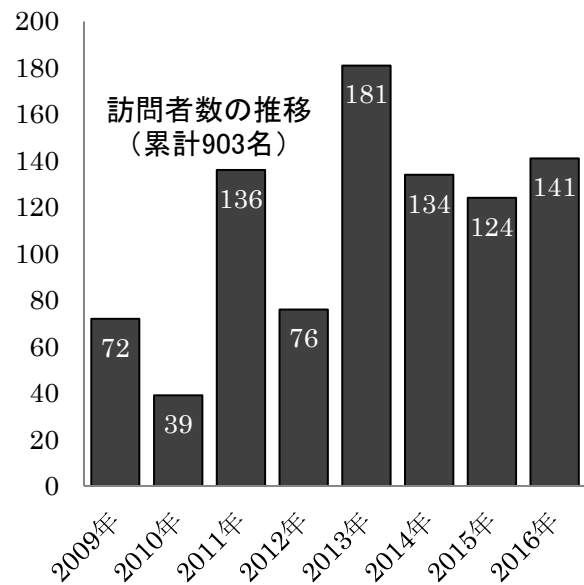
事務室前に2016年11月、新たなブックポストが設置されました。高校生のロッカーゾーン近くでもあり返却が便利になりました。ポストの上には、毎月のテーマ展示のポスターが掲示されています。



訪問者（敬称略）計 141 名

日付	人数	ご所属	氏名	訪問目的
4月2日	1	京都橘中・高等学校		図書館見学・視察
4月2日	1	関西大学 文学研究科		図書館見学・視察
5月6日	1	和泉市立和泉図書館		図書館調べる講座打ち合わせ
	2	図書館流通センター		図書館見学
5月20日	2	国際教育のプロバイダー I S A		国際交流 図書館見学
5月26日	1	(社)農山漁村文化協会 近畿支部		書籍販売
5月27日	1	井上理事のお知り合い		図書館デジタルアーカイブ見学
5月31日	1	図書館流通センター		ブックフェア打ち合わせ
5月31日	4	雲雀丘学園中学高等学校		学校見学
6月3日	1	ネブラスカ大学		昨年度の留学生が再来日
6月3日	4	青翔開智中学高等学校		図書館見学・視察
	1	キャノン ITソリューションズ		図書館見学
6月13日	1	県立広島大学		図書館見学
6月15日	1	立命館宇治中・高等学校 学校図書館問題研究会兵庫支部		探究科、総合学習 授業見学 図書館見 学(所属先は公開×)
6月17日	1	大阪YMCA アジア福祉人材育成センター		学校見学
6月23日	1	図書館流通センター		打ち合わせ
6月28日	2	河内長野市教育委員会		図書館見学
	1	大阪暁光高等学校		図書館見学
	1	大阪府立長野高等学校		図書館見学
7月1日	2	放送大学学園		放送大学取材
	1	専修大学		放送大学取材
7月4日	2	大阪府立金岡高等学校		図書館見学・視察
7月15日	1	同志社大学文化情報学部		図書館見学(高校生出張授業)
7月16日	2	岸和田市立北中学校		学校見学
7月20日	3	大阪府教育庁私学課		学校見学
9月5日	3	株式会社トーハン		担当者交替挨拶
9月7日	4	吹田市議会議員		探究科、総合学習 授業見学 図書館見 学
9月9日	2	大阪マラソン事務局		学校見学
9月12日	2	関西電力 大阪南支社		中3フィールドワーク取材相談
9月26日	1	大阪信用金庫松原支店		学校見学
9月26日	3	オーストラリアキングス クリスチャンカレッジ		学校見学
9月26日	1	海外子女教育振興財団関西分室		学校見学
9月27日	2	株式会社マイナビ出版		学校見学
9月27日	1	ダイワボロ情報システム(株)		学校見学
10月3日	4	学校法人 修道学園		学校見学
10月12日	2	大学非常勤講師		図書館教育研修会講師
10月17日	15	インドネシア グローバルマン ディリ校		学校見学
10月18日	2	檜垣会計事務所		卒業生 11/1に講演予定で下見来校
10月20日	4	(株)NSD		学校見学
10月27日	2	啓林館		探究科教科書について
10月31日	7	広島女学院中高等学校		学校見学
11月1日	2	関西学院吉岡記念館		学校見学
11月12日	5	武庫川女子大学		学校見学
11月21日	1	東京都杉並区東田中学校		授業見学 図書館見学
11月26日	3	江戸川区教育委員会		授業見学 図書館見学
11月30日	3	河合塾教育研究部		学校見学

12月10日	1	女子聖学院中学校高等学校		図書館見学
12月16日	1	関西大倉中学校		図書館見学
12月22日	2	大阪府教育庁地域教育振興課		学校見学
1月10日	1	新潟市総合教育センター		図書館見学・視察
1月17日	2	(株)日本コスモトピア マーケティング本部 公教育課		学校見学
1月23日	4	台湾 福旦高級中学校		学校交流
1月24日	4	韓国 巨提女子中学校		学校交流
1月31日	2	大阪暁光高等学校		中2社会科研究発表 図書館見学
2月2日	1	読売新聞大阪本社富田林通信部		コンクール受賞者2名の取材
2月2日	1	読売新聞大阪本社		スクールヨミダス説明
2月4日	1	明星学園小学校		図書館・総合学習 取材
2月9日	1	大阪学芸高等学校		学校見学
2月17日	1	武庫川女子大学		探究科・総合の情報交換
2月20日	6	大手門学院中高等学校		学校見学
2月22日	2	梅光学院中高等学校		学校見学
2月24日	2	図書館流通センター		教育ITソリューションエキスポ打ち合わせ
3月13日	1	武庫川女子大学		卒業研究発表会の見学



研修等への参加

- ・2016年5月15日 国際児童文学館「紹介と解説:2015年に出版された子どもの本」於:大阪府立中央図書館、会には南が参加、のちにリブラリアで紹介(参加5名)。
- ・2016年10月12日 深谷純一先生(国語教育研究家。『カキナーレ:女子高生は表現する』著者) ご夫妻をリブラリアにお呼びしてお話を伺う(参加5名)。



深谷純一先生をかこんで

雑誌・新聞記事・寄稿等 ([] 内は執筆者)

- ・2016年4月～2017年3月「清教学園リブラリア『生徒の使いたい本はこれ!調べ学習に役立つブックガイド:清教学園リブラリアの本棚から』『セドック』(少年写真新聞社Webサイト), [第99～120回, 計22回の連載] [南・岡崎・山崎]
- ・2016年6月「総合的な学習の時間における学校図書館活用」『改訂新版 学習指導と学校図書館』放送大学テキスト [鎌田和宏]
- ・2016年6月「学校図書館の活動:高等学校・特別支援学校の事例」『改訂新版 学校経営と学校図書館』放送大学テキスト [野口武悟]
- ・2016年秋号「学校図書館における『調べる学習』成果物のデジタルアーカイブ化事業:電子図書館《すくどデジタル》の構築」『図書館の学校』公益財団法人図書館振興財団
- ・2016年秋号「第19回図書館を使った調べる学習コンクール入賞作品紹介」「高井駿『在宅緩和ケアが導く“理想の死”とは:変わる終末期医療のあり方』」『図書館の学校』公益財団法人図書館振興財団
- ・2016年11月公益財団法人図書館振興財団編「豊かな人生のための読書と図書館活用」『図書館と学校が地域をつくる』 [岩崎久美子]
- ・2017年3月日本図書館協会「子どもたちの力でレファレンス:中高生もお手伝いできます(れふあれんす三題噺242)」『図書館雑誌』vol.111, No.3 [片岡則夫]



放送大学のテキストで
9ページにわたって紹介される

外部講師等(開催日・主催者「講座テーマ」会場[担当])

- ・2016年5月19日 伊賀地区学校図書館教会講演会「アクティブに学校図書館を使って学ぼう」名張発達子どもセンター [片岡則夫]
- ・2016年10月4日 平成28年度愛知県高等学校司書教諭研究会「読書と学習をつなぐ学校図書館:探究学習の指導を通して」愛知総合教育センター [片岡則夫]
- ・2016年11月22日 長野県図書館協会専門研修「探求学習における学校図書館の役割:図書館入門からおためし読書・探求学習」安曇野私立堀金小学校 [片岡則夫]



オリジナルデザインのリーフレット
ブックカバーにもなる図書館案内

印刷物

- ・2016年4月22日『総合図書館 清教リブラリア事業報告2015』200部
- ・2017年3月20日『タラントン2016：連携コース卒業論文』（探究科卒業論文要旨集）200部
- ・2017年3月20日「タラントンオリジナルリーフレット・図書館案内」1000部 [岡崎真実]

Twitterによる発信

Twitterによる発信2年目の2016年度は、発信の余裕がなくツイート数は昨年を下回りました。一方で、Twitterを通じ作家の田丸雅智さんとの交流も生まれました。中1総合的学習のショートショート創作のツイートがきっかけです。また、「本をつなげるプロジェクト」の絵本の読み聞かせや「宗教部・リブラリアのクリスマス会」のミニコンサートの、動画による発信を行いました。

	ツイート数累計	ツイート数/年	ツイート数/日	総フォロアー数	フォロアー数増減
2015年度末		153	0.6	192	
2016年度末	289	136	0.4	318	+126

6月開始

Twitterによる発信統計

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第19回図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催：公益財団法人 図書館振興財団

優秀賞・読売新聞社賞（高校生の部）

さん『貧困におかれる子どもたちはどのように支えられているのか：子ども食堂等の民間のこころみを通じて』（高3A）

優秀賞・図書館振興財団賞（高校生の部）

さん『チャイルド・ライフ・スペシャリストは病院に必要か：欧米の「遊びケア」との比較を通して』（高3A）

優良賞…最終審査対象作品

さん『動物実験はなぜ目に見えないのか：その現状と理解に向けた歩み』（高3A）

さん『高知県の「おもてなし」の観光とはなにか：「ひと」が魅力だといえる観光地』（高3A）

さん『日本語に“カタカナ外来語”がなぜ多用されるのか：日本語へと変貌する外国語の実態』（高3A）

さん『至福の時間を与える鉄道デザイン：なぜデザインが人に至福を与えているのか』（中3B）

奨励賞…3次審査通過作品

さん『側弯症の治療ってどんなもの？ 意外と知らない身近な病気“脊柱側弯症”～私の手術体験記～』（中3E）

さん『江戸時代にできた貞享暦 渋川春海の苦難の道』（中3D）

さん『せっけん・洗剤ーもっと毎日を楽しむためにー』（中3E）

佳作…3次予備審査通過作品

さん『なぜ日本人の英語は笑われるのかー英語教育史から見るこれからの英語教育方法の在り方ー』（高3A）

さん『私たちの起源～太古の人々、縄文時代の生活～』（中3D）

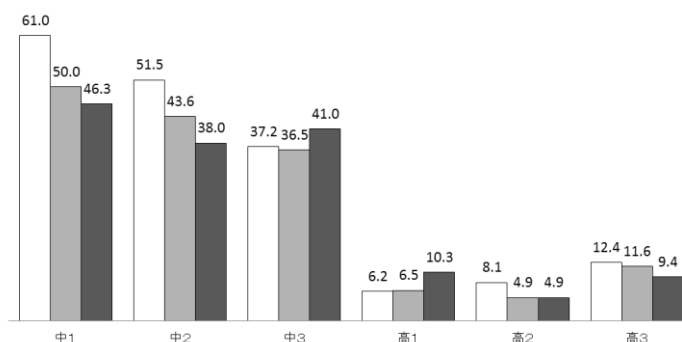
- さん『パッケージデザイン ヒット商品の共通点とは』(中3B)
- さん『バラ解体新書一人々を魅了した歴史と秘密ー』(中3D)
- さん『バリアフリーバリアフリーは日常でどのように役立っているのか?ー』(中3D)
- さん『動物殺処分はなぜ行われるのか?~ペット業界の闇と私たちにできること~』(中3D)
- さん『素晴らしい化石たちー化石にまつわる全てー』(中3B)
- さん『ピラティスとはなぜ身体にいいのか?~ピラティスがもたらす効果~』(中3E)
- さん『植物工場から見出す最新農業とは?~私達若者が手助け出来る事とは?~』(中3D)
- さん『人生から読み解く与謝野晶子の魅力とは何か~歌とともに見る晶子の生き様~』(中3E)
- さん『獣医師 動物看護師~ペットの安全を守るその職とは?~』(中3D)
- さん『人はなぜクラシック音楽を聴くのか』(中3C)
- さん『新聞は世界から消えてしまわないだろうかー活字の力は時代を超えるー』(中3D)

[I トピックも参照ください]

VI 課題

一人当たりの貸出点数の変化(学年別)

□ 2014年度 ■ 2015年度 ▨ 2016年度



① 高校生の利用率の低さ

ひとりあたり年平均の貸出冊数が中高で依然開きがあります。中学生 41.7 冊に対して、高校生約 8.2 冊、約 5 倍の開きがあります。高校生の低利用率はこの 10 年一貫して見られます。

理由の第一は図書館の位置にあります。高校生の生活動線上に図書館がないため 6 年コースの生徒も高校入学後縁遠くなってしまいます。特に教室の遠い高 2 年生にとっては昼休みの来館さえ難しいようです。

とはいえ高校生全体のひとり当たりの貸出数は 7.7 冊 (2015) → 8.2 冊 (2016) と、わずかに改善されました。そのけん引役はグラフに見るように高校 1 年生の平均貸出数の増加です。一人当たり 6.5 冊から 10.3 冊と約 4 割増となりました。この増加には次のいくつかの要因が考えられます。①織園 2016 年度は高 1 教室位置がやや近かった。②3 年コースを含め読書に熱心な生徒が存在した。③SGH 関係の調査による貸出があった。

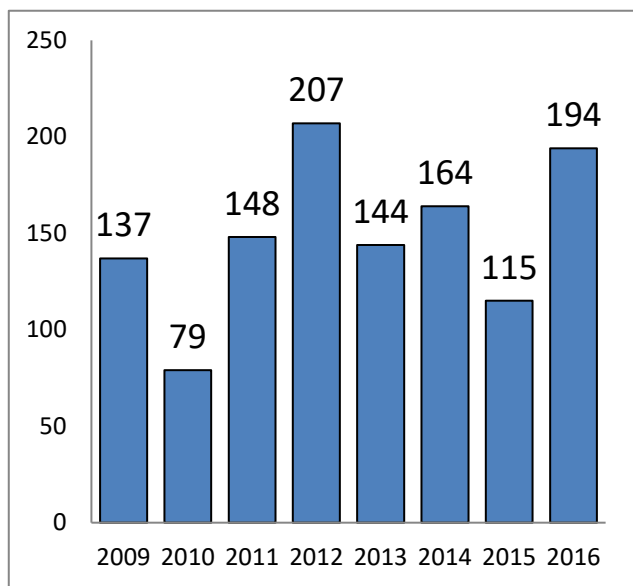
長期的には、図書館自体の生徒動線上への移動を考慮する必要があります。

②紛失図書問題：紛失数・紛失率ともに増加

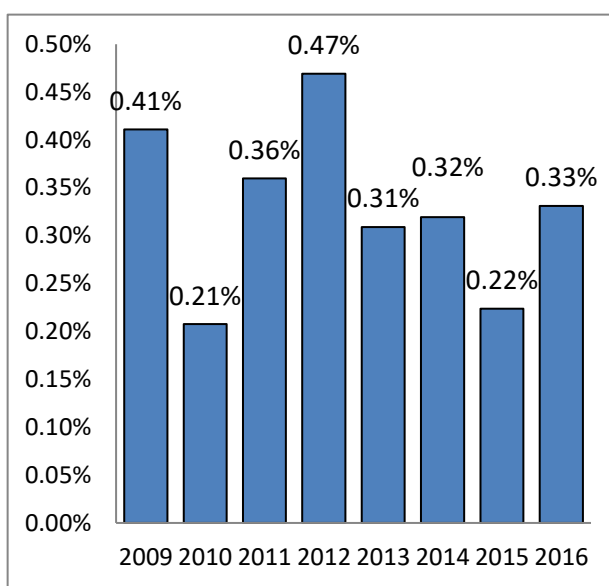
紛失図書の総数が本年度は 194 (昨年度は 115 冊) と増加しました。図書紛失率も 0.33% となり一昨年のレベルに戻ってしまいました。蔵書 1000 冊中、3 冊強が紛失した計算になります。昨年より「1 ヶ月以上の延滞の生徒には新たな資料の貸出はしない」というペナルティを継続しています。ところが、紛失本のリストから考えて、貸出禁止状態になった生徒が総合学習の授業で無断持ち出しをしている可

能性も考えられました。また十数冊の漫画を無断持ち出しし、それが数カ月後に図書館の一角で発見されたケースもありました。

統計を取り始めた2009年度からの紛失本の累計は1188冊となり、被害総額は200万円を越えます。こうした利用状況から一部私学で導入されている、ICタグによる蔵書管理も検討する必要があります。



年間の紛失冊数の推移



年間の紛失率の推移



総合図書館 清教学園ブラリア
2016 年度事業報告

発行日:2017 年 4 月 24 日

著者:清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本:清教キャンパス

連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。